

3F	5月	6月	7月
総合展示室1 土佐藩の歴史	第1期 ~5月6日(月・祝) 5月17日(金)~	第2期	~7月22日(月)
総合展示室2 大名道具と土佐の文化	4月26日(金)~	第1期	~7月1日(月) 第2期 7月12日(金)~9月23日(月・祝)
特別展示室 企画展	政社の時代 ~民権と反民権~ 3月15日(金)~5月20日(月)	武家の服飾 ~山内家伝来装束の世界~ 6月22日(土)~	~9月1日(日)

# 城博ニュース

## 城博講座

<b>5月</b> <b>11日(土)</b> 古文書講座 「古文書解説 実践篇」 第1回 前年度の復習 講師/藤田雅子(当館歴史担当学芸員)	<b>6月</b> <b>8日(土)</b> 歴史講座 「海と山のめぐみ ~土佐の社会と産業~」 第1回 土佐の捕鯨と浦々のくらし 講師/水松啓太(当館歴史担当学芸員)	<b>7月</b> <b>13日(土)</b> 古文書講座 「古文書解説 実践篇」 第2回 解説に挑戦① 講師/藤田雅子(当館歴史担当学芸員)
<b>25日(土)</b> 美術工芸講座 「見る技術 ~はじめての日本美術~」 第1回 染めと織りと繻い 講師/丸塚花奈子(当館美術工芸担当学芸員)	<b>22日(土)</b> 日本の文化講座 「五節句」 第1回 五節句と日本の文化 講師/橋本章氏(京都府京都市文化博物館主任学芸員)	<b>20日(土)</b> 保存修復講座 「文化財修理と“土佐和紙”」 第1回 補修用和紙としての土佐和紙 講師/田井東浩平(当館保存担当学芸員)
		<b>27日(土)</b> 美術工芸講座 「見る技術~はじめての日本美術~」 第2回 美術のはんことサイン 講師/尾本師子(当館美術工芸担当学芸員)

会場/当館1階ホール 時間/10:00~11:30 定員/80名 参加費/無料 申込み/不要(当日先着順)

## 地域文化講座〈第1回〉

「地域」をキーワードとして、地域の調査方法や課題分析を学習する連続講座(年4回)です。

日時 7月6日(土) 13:30~15:00  
 講師 今村直樹氏(熊本大学永青文庫研究センター准教授)  
 題目 「日本近世・近代の村とその特質」  
 会場 当館1階ホール  
 定員 80名(要事前申込・先着順)  
 参加費 無料

◆申込方法◆  
 TEL 088-871-1629  
 FAX 088-871-1619  
 5月20日(月)  
 9:00から受付開始

## 土佐文化紹介講座①〈外国人対象〉

Culture of Kochi Lecture and Japanese Cultural Experience (for foreigners)

高知に住む外国人を対象に、生活で役立つ知識(高知の地理と歴史文化)や日本文化の楽しみ方(お茶と侍文化)を伝授・体験する講座です。  
 There is a flyer in English on our website.

日時 6月23日(土) 13:30~15:30  
 講師 当館職員・高知SGG善意通訳クラブ会員  
 会場 当館1階ホール・和室  
 定員 20名(要事前申込・先着順)  
 参加費 1,000円

◆申込方法◆  
 TEL 088-871-1629  
 FAX 088-871-1619  
 5月22日(日)  
 9:00から受付開始

## お得な年間観覧券がおすすめです

城博の展示は、年間5回の企画展に加えて総合展示室2室も約2ヶ月毎に展示替え。年間観覧券があれば入館もスムーズ。ぜひご利用ください。

**年間観覧券 / 2,000円**  
 ※有効期限は購入日から1年間

## 各種会員制度もご利用ください


友の会 年間観覧券と様々な特典があった会員制度です。

**年間 3,500円**

情報会員 城博ニュースのほか、展示や行事・催し物などのお知らせをご自宅にお送りします。

**年間 500円**

友の会、情報会員の詳細はこちら



**開館時間** 9:00~18:00 (日曜日は8:00~18:00) ※展示室への入室は閉館30分前まで

**休館日** 年末(12月26日~31日) ※展示室の開室スケジュールはホームページをご覧ください

**観覧料**

- ◆500円(400円) ※( )は団体20名以上の料金
- ◆企画展開催期間中...700円
- ◆高知城とのセット券 ※有効期限は当日限りです(当館企画展開催期間中)900円 (その他の期間)740円
- ◆高校生以下は無料

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳所持者と介護者(1名)は無料  
 ※高知県・高知市長寿手帳所持者は無料

**交通アクセス**

- ◆お車 高知自動車道高知ICから約15分、一般来館者用の駐車場はございません。高知公園(高知城)駐車場など周辺の有料駐車場をご利用ください。※障害者用駐車場(2台)あり
- ◆JR JR高知駅からとさでん交通路面電車(はりまや橋方面行き5分)はりまや橋下車にて乗り換え、高知城前下車、徒歩2分
- ◆飛行機 高知龍馬空港から空港連絡バスにてはりまや橋下車、徒歩約20分

高知県立 高知城歴史博物館

〒780-0842 高知市追手筋2-7-5  
 TEL.088-871-1600  
 FAX.088-871-1619

高知城博 検索



発行日/令和6年(2024)5月15日 編集・発行/高知県立高知城歴史博物館 印刷/共和印刷株式会社



# 開館7周年 The JOHAKU DAY 城博の日

当館は、令和6年3月3日に開館7周年を迎えました。これにあわせて3月2日、3日の2日間に周年行事「城博の日」を開催しました。毎年、華やかな春の足音が聞こえはじめる頃に迎える「城博の日」。当日は、職員総出で展示解説や多数の体験行事、記念品プレゼント企画などを催し、来館者の皆さんをお迎えしました。また、中高生や大学生たちによる演奏会等のステージ、地域の保存会の皆さんによる神楽の実演会や地元事業者の方による物産コーナー、高知出身で連続テレビ小説「らんまん」にも参加されたオーボエ奏者崎本絵里菜さんを迎えたミュージアムコンサートなど記念行事も多数開催し、年に一度の催しは大いににぎわいました。たくさんの来館者や地域の方たちとともに華々しく催した「城博の日」を区切りに、8年目の城博がはじまりました。当館では、引き続き様々な展示や講座・行事等の開催をはじめ、多彩な事業・活動を展開してまいります。今年度も皆さまのご来館、ご参加を心よりお待ちしております。



# 武家の服飾

山内家伝来装束の世界 6月22日[土] → 9月1日[日]

初代山内一豊から16代山内豊範まで、歴代土佐藩主の所用品を中心に山内家伝来の服飾資料を一挙公開。武家の装いに備わる機能と美に垣間見える武士のすがたをご紹介します。

戦衣に備わる機能と美について、初代一豊、2代忠義の所用品を中心に読み解きます。歴代藩主の個性豊かな陣羽織にもご注目ください。

黒羅背板地日輪文様陣羽織 初代藩主山内一豊所用  
桃山-江戸時代初期(16-17世紀)



おおよそ「公」の装いとして、江戸幕府の衣服制度に関わる資料や土佐藩の年頭儀礼で着用した紙衣などを紹介します。



上:浅葱麻地丸三柏紋付袴 江戸時代(19世紀)  
右:濃萌黄地丸三柏紋付袴斗目 江戸時代(19世紀)

## 武の装い

## 公の装い

武家の式楽として高い地位を確立した能にふさわしい、華やかで美しい能装束を展示。

金地雪持南天色紙散文様唐織 江戸時代(19世紀)



## 武の装い



### 城博コレクションの名品逸品

古文書をはじめとした歴史資料や歴代藩主の御道具など6万7千点の土佐藩主山内家資料を核とした土佐藩・高知県ゆかりの収蔵資料の中から学芸員がオススメの名品や隠れた逸品をご紹介します。

## 白地牡丹唐草文様 緞子具足下着

2代藩主山内忠義所用  
江戸時代17世紀



名称がとにかく長いこの資料。いったい何と読むのか分からないという声をよく聞きま。染織資料の名称は長くて難解というイメージをお持ちの方も多いのではないのでしょうか。まずは、染織資料の名称を、読み解くポイントをお伝えします。

この資料の名称、どこで区切るかと「白地牡丹唐草」と「緞子具足下着」とに分けると、草文様/緞子/具足下着」です。意味は「白地に牡丹唐草文様を織り出した緞子という生地で作られた具足下着」と言ったところでしょうか。当館の場合、染織資料の名称には原則として、表地の色(地色)、文様、生地の種類用途の情報が

着用するもので、この具足下着は2代藩主山内忠義(1592-1664)の所用と伝わっています。襟にはフリルを模したような飾り、袖口はカフスが付けられていて、まるで西洋の衣服のようです。

忠義の生きた時代には南蛮貿易が隆盛を極め、西洋はじ

め諸地域からさまざまな文物が日本に入ってきていました。中でも、来日した宣教師や商人(南蛮人)が着用した衣服は、戦国武将たちの関心を集め、その装いに大きな影響を与えました。

忠義も例外ではなく、実際に南蛮人から衣服を入手したという記録が残っています。伝存品には舶来の素材が多量に用いられ、南蛮の衣服の影響を感じさせる仕立てがいくつも見られます。忠義には、当時の最先端のファッションを取り入れるオシャレな一面があったよう

### 活動レポート

## 自由民権150年記念講演会

講演会

企画展「政社の時代～民権と反民権～」の関連行事として、4月13日に講演会を行いました。慶應義塾大学経済学部教授の松沢裕作先生に、「自由民権運動のなかの土佐派」と題してご講演いただきました。



松沢先生は、自由民権運動期の状況として、明治になり諸制度が定められ、身分制や村請制が解体し社会が流動化するなか、結社が人びとのより所になっていたこと。戊辰戦争の勝利に貢献した人びとは、政治に参加する権利を当然のものとして主張するようになっていたこと。という2つの前提をまず説明されました。

そして、戊辰戦争の英雄であり、立志社を創設した板垣退助を中心とする土佐派が、政治参加を求める運動として、自由民権運動を展開。土佐派は憲法よりも国会を先に開設すべきと判断。政府が国会を開かないため、自分たちで「人民の過半数」の支持を集めて国会を開いてしまうという「私立国会論」を進めた。この私立国会を目指したというのが、都市知識人たち改進黨系の自由民権運動とは異なる点で、土佐派ならではの面白い点であると力説いただきました。

講演会により、全国の自由民権運動のなかでの土佐派の運動の位置づけやその特徴を知ることができました。自由民権運動が始まってから150年という節目の年に、定員いっぱい参加者とともに、「自分たちの社会を自分たちの手で作る」という土佐派の自由民権運動をふり返ることができ、大変有意義な講演会になったと考えています。

資料学芸課 学芸員 高木翔太

## 大豊町周辺での地域散策会について

地域散策会

当館では年1回、地域の史跡や歴史的景観を散策する催事を実施しています。令和5年度は3月17日に大豊町周辺で実施しました。参加者22名と定福寺(本堂庫裏が国登録文化財)、旧立川番所書院(国重要文化財)、早明浦ダム、杉の大スギ(国特別天然記念物)を巡りました。

定福寺では、釣井龍秀住職からお寺の歴史などをお聞きし、本堂の阿弥陀如来像や宝物殿の優しく微笑む六地藏などを拝観しました。同寺の境内に建つ豊永郷民俗資料館では、山村の農林業を支えてきた数多くの生産用具類(約12,000点、このうち2,595点が国重要有形民俗文化財)を見学しました。周辺では、薄墨桜などが咲きはじめ、おだやかな山寺の風情を楽しみました。



定福寺本堂内

旧立川番所御殿では、語り部の石川靖朗氏より建物の特徴や展示品について興味深いお話をお聞きしました。昼食は隣接地にある茶屋で、立川体験交流の会が育てた銀不老豆など地元の食材を使ったお弁当と温かい田舎そばを美味しくいただきました。

その後、四国の水がめ早明浦ダムの貯水湖と樹齢3,000年ともいわれる巨木の「杉の大スギ」と隣接する美空ひばり遺影碑・歌碑を見学して帰路につきました。

地域企画課 地域連携担当 黒石哲夫

### Attire of the Warrior Elite

The Yamauchi Textile Collection

### 関連イベントも盛りだくさん!

#### 1 記念講演会

「戦国武将のファッション 陣羽織に求められた機能と美」

講師:長崎巖氏(共立女子大学名誉教授)  
日時:7月13日(土)14時~15時30分  
定員:80名(先着順)

#### 4 夏休み工作教室

「型染でオリジナルの作品を作ってみよう!」

日時:①7月27日(土) / ②8月18日(日) いずれも10時~12時  
参加費:300円  
※染めるもの(Tシャツやバッグなど)は各自でご用意ください。  
定員:各回12名(小学生対象/申込多数の場合は抽選)

#### 2 山内家資料修理説明会

「山内家伝来服飾資料・陣羽織の修理」

講師:矢野俊昭氏、幸道萌香氏(株式会社 染技連)  
日時:8月24日(土)14時~15時30分  
定員:80名(先着順)

#### 5 親子でたのしむ展示見学会

「なぞとき美術鑑賞!」

日時:①8月3日(土) / ②8月17日(土)  
いずれも10時30分~(70分程度)  
参加費:無料  
定員:各回6組(小学生対象/申込多数の場合は抽選)

#### 3 展示解説

企画展担当学芸員による展示解説

日時:6月30日、7月28日  
いずれも日曜日  
10時30分~(30分程度)

#### 6 ワークショップ

「陣羽織をデザインしよう!」

自分が着てみたい模様を描いて、陣羽織をデザインしてみよう!  
日時:会期中いつでも



### 総合展示室 展示情報

歴史と美術、2室の総合展示で山内家資料の魅力を満喫

令和6年度 総合展示室 第2期 5月17日(金)~7月22日(月)

#### 1 ピックアップ 鯨の図

土佐藩の歴史

よさこいで「おらんくの池にや潮吹く魚が泳ぎよる」と唄われる海の幸「鯨」。土佐の特産品を紹介するコーナーでは、8種の鯨が描かれた鯨の図とともに捕鯨関係資料を展示します。



総合展示室 第1期 4月26日(金)~7月1日(月)

#### 2 ピックアップ 源氏物語

大名道具と土佐の文化

大河ドラマで話題の紫式部。彼女が生み出し、今なお愛される「源氏物語」の世界を、山内家伝来の写本や画帖を通じてご紹介します。



※③⑥以外の各行事は事前申込が必要。④⑤は申込多数の場合、抽選となります。5月21日(火)より受付開始。詳細(申込方法・申込期間等)は企画展チラシまたは当館HPをご覧ください。